

大和地域審議会

平成18年度

第3回会議録

開催日時	平成19年3月20日(火) 10:00~11:30	
開催場所	大和庁舎2階 大会議室	
会議内容	次 第	会議結果
	1 開 会 2 報 告 (1) 答申の進捗状況について (2) 協定項目の進捗状況について (3) その他 3 閉 会	

大和地域審議会委員出欠名簿（15人中12人出席）

出席者：稲又 暁子、江崎 三子生、石橋 美千代、河野 宇充、成清 和加野、小柳 哲朗、高山 和夫、松藤 義生、西田 長子、林 弘子、久富 利幸、
 淵上 愛子

欠席者：西田 速彦、藤井 達也、藤野 満夫

会議録の確定		
確定年月日	平成 年 月 日	
署 名	議長	

午前10時00分 開会

○事務局

皆さんおはようございます。本日は、大変お忙しい中に御出席いただきましてありがとうございます。昨年の6月9日に柳川・大和・三橋の地域審議会から地域的課題に対して答申をいただきまして、その後、総合計画を策定してその中にも反映させることとしていました。冊子ができてから開催しようと考えておりましたが、冊子ができるのが3月になり、会議が遅れましたことをお詫び申し上げたいと思います。

本日は、答申の対応状況と合併時の合併協定項目の進捗状況についてご報告したいと思いますので、よろしくお願ひします。それでは会長さん進行をお願いいたします。

○松藤会長

皆さん、おはようございます。今日は、第3回の大和地域審議会を開催させていただきます。皆さん方には、大変御多忙の中に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず、(1) 答申の進捗状況について、事務局説明をお願いします。

○事務局

(答申の進捗状況について事務局説明)

○松藤会長

ただいま事務局の方から説明がございましたけれども、何か御意見、ご質問がありましたら出していただきたいと思います。

○稲又委員

交通手段の確保ですが、私たちから見れば、柳川地区の方だけ巡回バスが重点的に回っている気がするんです。大和・三橋地区は庁舎の方に市のバスが来ているが、日に2回ぐらいです。市民から見ればもう少し力を入れていただきたいと思います。

○事務局

福祉巡回バスの件ですけれど、合併後2年経ちますので、できるだけ公平にしなければならないと言うことで今いろいろと検討している所です。柳川市の巡回バスは合併前から巡回バスを始めていまして、旧柳川市出身の方に寄付していただいたバスを2台、蒲池地区や昭代地区に走らせています。1日8便、同じコースは週2回しか回らないことで始めた経緯がありますが、実際はなかなか利用がない状況でした。そこで2台のうち1台は予備としていしましたが、これを一部見直して、市所有のバスが1台ありましたので、常時2台が走れるようにしました。

また、両開地区は、以前堀川バスが走っていたんですが去年の10月から廃線になり、代替として市のバスを走らせることとしました。しかし、1日の利用者が40人ぐらいということで実際の費用が年間に700万円ちょっとかかり、収入は1人100円ですのでほとんど収入が上がらない状態です。

それで今後どうするかが課題になるわけですが、委員さんからご指摘があったように大和・三橋地域はバスがないということでバスを走らせる要望もあっており、実際バスを走らせるようになるとさらに経費がかかるようになります。仮にバスを走らせるとなると各地域に1台ずつとなり、週に何便かという状態になります。利用者にとっては思うときに乗れないので非常に不便に感じると思います。たくさん利用者

があれば便数を増やしてどんどん回したほうがいいですが、旧柳川でやっている分でもそうはなっていない。利用するのに不便と言うこともありますが、便利にしたからと言っても利用者は増えないでしょう。実際に車を持っている人は車に乗るので、乗れない人が利用するため、そんなに伸びないだろうと思います。

今やっている巡回バスも続けるかどうかの問題も出てきていますし、乗り合いタクシーをやったらどうかという意見も出ています。その辺の予算の関係もありますが、福祉巡回バスだけではなく、西鉄バス、堀川バスにも2,000万円ぐらいの補助を出して、赤字を補填している状況ですので、それにプラスして福祉巡回バスを増やすのか、あるいは別の形で乗り合いタクシーにするのかなど検討する必要があります。他地域の乗り合いタクシーを見てみますと、それこそ2,000万円～3,000万円の補助をしないと赤字になるということでこれもなかなか難しい。どうしたら一番いいのか結論が出ていない状況にある。

そこで市の中にバス対策協議会というものがあり、その中に大和、三橋の商工会やいろんな方が入っていただいて協議をしている最中です。旧柳川で走っている福祉バスをどうするかということも含めて今後検討していくということになっていますので、今の状況が不公平だと感じられるかと思いますが、ご理解をお願いします。

○稲又委員

今聞いても大和・三橋地区はやっぱり今までバスが無かったから、柳川地区にだけ重点をおいてあるように聞こえます。堀川バスにしてもそれに補助してあると言うことは柳川地区の人たちだけ便利と言うことじゃないでしょうか。大和地区には走っておりません。対等合併したので予算を回してくれと言うことではありません。私たちから見ると不公平さがそこに出てきているような気がするんです。その辺を考えていただきたいと思います。柳川分を少し減らして大和・三橋に何かをとということなら分かりますけど、そちらにばかり重点をおかれて、バスを寄付していただいたから蒲池や昭代を回っていますじゃ気分の悪かですよ。

予算はもっと減ると思います。国から来ないんでしょから、もう少し恩典として大和・三橋の交通手段を考えてほしいというのが市民の考えだと思います。よろしくをお願いします。

もう一つ、EMの浄化問題なんですけれど、ちょっと聞いた所によりますと予算を減らされたと言うことでEMの無料配布などが途中でストップするというようなことは無いでしょうか。

○事務局

把握していませんので、調べてお知らせします。

○松藤会長

続いて協定項目の進捗状況の説明をお願いします。

○事務局

(協定項目の進捗状況について説明)

○松藤会長

ただいま事務局の方から説明がございましたけれども、何か御意見、ご質問がありましたら出していただきたいと思います。

○高山委員

14の施設の使用料については、いつ決まるのでしょうか。

○事務局

事務局でも検討してまいりまして、現在、検討委員会を2月の終わりに開催しています。今週の23日に2回目をするようにしていきまして、事務局としてはできれば6月議会に提案して、10月から実施できるようにと考えています。ただ検討委員会で検討していただいていますので、どのくらいで結論が出るかわかりません。事務局案どおりとなるかもわかりません。

○高山委員

補助金の削減が5,500万円と説明がありましたが、全体では何割ぐらいの削減になりますか。

○事務局

全体が12億円ぐらいありますので5%ぐらいとなります。その中には削減できないものもありますので、そういったものは審査対象外となっています。廃止や10%、20%減などいろいろな削減率があります。

○松藤会長

行政区の公民館建て替えの補助制度は現行のとおりなのか。

○事務局

現行どおりです。

○稲又委員

明日の開催になっていますけれど、去年からあった合併記念と言う催しについてですが、去年は無料でした。今年は前売り券が出ていて割り当てになっていた。誰が決めているのか。市は補助を出しているのか。今年がいいが毎年という不公平が出てくる。公民館に割り当てがあるのも問題がある。

○事務局

生涯学習課に伝えておきます。

○河野委員

地区の役員会があったが、地区公民館やお宮にある遊具は利用もされていないし、腐食していて危ないので全市的な見直しをしたらどうか。(中田の町、六合の奥)

○松藤会長

地区公民館にあるのは、旧大和では地域づくりという補助金で補修していた。その補助金も無くなったのでどうなるだろうか。また所管はどうなるのか。

○事務局

地区公民館にあるものはほとんど行政区で作っていると思います。維持補修などは行政区で行うこととなります。公園などは市や町で設置していると思いますが、こちらでも調べてみます。

○松藤会長

どちらで設置しているか区長に確認してください。

○松藤会長

どうもお疲れでございました。ありがとうございました。

午前11時30分 閉会